

小郡 星空観測記

小郡市
地域おこし
協力隊
活動報告
コラム



笹月 将
(ささづき しょう)

1995年、福岡県生まれ。
広島市のこども文化科学館での勤務歴があり、子ども向けの天体教室・観測会に関わる。趣味は読書、チェス、将棋。好きな太陽系惑星は海王星で、未だ謎多き深い青の惑星に魅力を感じます。



Lemmon彗星(C/2025A6)を
撮影しました



星を見上げると

今年の夏から秋にかけて、多くの子どもたちと星空を見上げる機会がありました。一緒に流れ星や天の川を見たり、中秋の名月を探したり、望遠鏡で話題の彗星を観察したりしました。ときどき雨や雲に遮られたこともありましたが、星が見えたときに聞こえる「見えた!!」という喜びの声は、いつ聞いてもかけがえのないものです。そのような子どもたちの目は、まるで星の輝きが移ったかのように、キラキラと輝いて見えるときがあります。

宇宙や星空を知ることが、現代における進学や就職、実生活であり役に立たないと考えられていますが、それでも私はもっと多くの人に星空を眺めてほしいと願っています。たくさんの方が星を眺め、見えたときの喜びと感動を分かち合えたら、この世の中はもっと生き生きとしたものになると思うからです。

星空を眺めることに資格はいりません。晴れた日の夜には、ぜひ皆さんも誰かと一緒に星を眺めてみてはいかがでしょうか。

笹月隊員の星空予報

1月に見える星空

南東の方角を見上げるとオリオン座、おおいぬ座、こいぬ座の1等星を結んでできる「冬の大きな三角」が見えます。そのうちのひとつ、オリオン座のベテルギウスは非常に高齢な星で、いずれこのオレンジ色の星は爆発してなくなってしまうと言われています。生命と同じように星にも寿命があるのです。今夜見える星座も今だからこそ見えるという事実を噛みしめながら、星を見上げてみてください。



©アストロアーツ

1月中旬 21時
小郡市の星空(南東の方角)

